

南幌町の皆さん初めまして、 「地域おこし協力隊」です！

地域おこしを手伝ってくれる人材が、南幌町に移り住みました。

町に新しい風を吹かせてくれる「地域おこし協力隊」——。

これから多くの地域の方々と接し、活動していくこととなります。

協力隊はどんな人なのか、南幌町にどんな思いを持っているのか——。まずは自己紹介

地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊は、平成21年度に制度が創設され、都市から地方に人材を誘致して、地域おこしの活動により地域の活性化に貢献し、その地域への定住・定着を図るという仕組みです。

北海道では、平成29年度（平成30年3月現在）で、142の自治体で導入され、隊員数は593人になっています。空知管内では、既に118名の協力隊員が活躍しています。

導入の経緯等

南幌町では、これまで観光振興や観光PRなどに取り組んできていますが、観光振興を活性化させるために、地域内の情報収集や町外に向けての情報発信への取り組み、町の観光資源の発掘を進めて行くことが重要と考えており、地域おこし協力隊（観光掘りおこし隊）を導入し、新たな視点で地域を見つめ、地域の方と連携した観光業の振興及び地域活性化を図ります。

南幌町で初の地域おこし協力隊

10月1日より、地域おこし協力隊員が南幌町に移り住み、活動をスタートさせました。どのような人がやってきたのか皆さんにご紹介します。

きれいな夕焼けと豊かな農産物があるまちで

はじめまして。南幌町で地域おこし協力隊に就任しました青木千佳です。

旭川市で生まれ、東京で育ち京都で陶磁器の勉強をした後に埼玉県で作陶を続けていました。

私がはじめて陶芸をしたのは旅先のスウェーデンでのことでした。そこでは、その土地で採れた作物の料理をそこで作った自分のお気に入りの器を毎日選んで食事をする事ができました。その様子がなんとも素敵で、こんな風にもものづくりをできたらと思い陶芸を始めてみることにしました。作り続けるうちに、もっと大きな作品を作りたいと思うようになり、広くてのびのびと作れる所はないものかと探していました。

そんな時に友人の勧めで知ったのが『地域おこし協力隊』です。

教えてもらってからすぐに調べてみたところ、南幌町の広大な自然と夕焼けの空の写真が目にとまりました。なにより南幌町でとれる豊かな農産物も魅力的で南幌町ならば私が作る作品と土地でとれる作物が循環してよいものが作れるのではないかと思います。

初めて来た日の南幌町は空が広くてあの写真の通りとてもきれいな夕焼けが私を迎えてくれました。野菜もお米もとても美味しく、ゆったりとした時間の流れる豊かな南幌町の魅力を沢山の方にお伝えしていきたいと思っています。

また、私の活動を通して皆さんと共に南幌町を盛り上げていけたらと考えています。

頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

勤務先：南幌町役場産業振興課
趣味：陶芸、散歩

青木 千佳